

平成二十五年十一月 作品 於 浜離宮恩賜庭園 芳梅亭

潮の香の風に歩いて石露の花 (一江)

小春日や抹茶の席の緋毛氈 (隆治)

一陣の風にかえでの種吹雪 (正雄)

冬晴れや茶屋に女人の弾む声 (前歩)

大池で園児のやうに鴨遊ぶ (隆行)

三百年の重みを払ふ松手入れ (孝昭)

秋天や都会の音をはるかにし (平六)

木漏れ日の広がりの中石露の花 (貴美)

そそり立つビル背景に冬もみじ (正佳)

汐入りの池に鯨はね水光る (奉男)

鴨池の汀みぎわに石露の咲き盛る (太郎)

小春日や歴史ひも解く浜離宮 (由美)